

事業所名	Rainbow Kids Lab				支援プログラム	作成日	2026年	3月	6日				
法人（事業所）理念	”あなたらしく生きていくために”を法人理念とし、自立へ向けて、子どもの心と一緒に歩いていく。一人ひとりの色を認め合い、それぞれがより輝きを放つためのお手伝いをする。												
支援方針	Rainbow kids Labでは、お子様の興味のある活動から、「おもしろい!」と思える好奇心「もっと知りたい!」と思える探求心「やってみよう!」と思える自己効力感「自分にはいいところがある!」と思える自己肯定感「がんばろう!」と思える気力等、お子様の発達や能力の土台となる力を高め、頑張る力の根っことなる「心」を育てていきます。お子様の”困った”や保護者様の心配に寄り添いながら、困りごとの根っこを見つけ、それぞれに合わせたプランで療育をオーダーメイドしていきます。												
営業時間	平日	月	木	金	9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	◎身支度や手洗い等の衛生面に関する活動、排泄、活動中の片付けに関する支援を行っていきます。 ・意思表示が困難である子どもたちの発達の過程、特性を配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう支援をしていきます。 ・衣服の着脱、排泄の自立など、基本的な身辺自立スキルの習得を目指していきます。 ・様々な遊びを通して学習していくお子様が、安心して活動し、居場所を確立していくことができるよう、一人ひとりに合わせた環境調整を行います。											
	運動・感覚	◎お子様の特性や発達段階に応じた運動経験を通して、身体を動かす意欲を引き出し、感覚・運動機能の向上を図ります。 ・微細運動を通して、微細な動きや手指の制御の向上を支援し、日常生活の活動や学習において能動的に関わり、自己実現を促進していくことを目指していきます。 ・活動を通して、保有的視覚・聴覚・触覚等、の感覚を十分に活用して、情報を処理していくことができるよう支援していきます。 ・バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚に触れながら、お子様の困り感やニーズに応じた技能習得を目指し、運動における達成感や自己効力感を育てていきます。											
	認知・行動	◎様々な活動を通して、自身で考え、感じることで新たな気づきが得られるような活動の機会を提供、及び発達特性に応じた環境調整を行いながら、状況に応じた行動調整の機会を育み提供します。 ・物のマッチング、興味・関心のある物事の知識と理解、認知や行動の手掛かりとなる概念、記憶、思考力 ・小集団での関わりや教具での活動を通して、状況やその場に合った行動形成を育むとともに、自身の認知的特性を理解しながら、様々な事象への適応力を高めていくことができるよう支援していきます。 ・認知・行動面に課題のあるお子様には、環境調整を行いながら、理解に繋がりがやすい言葉掛けを行い、気持ちや感情の調整ができるよう支援をしていきます											
	言語 コミュニケーション	◎他者に思いを伝えたいという気持ちを育みながら、安心して他者と関われるよう、個々の状態に合わせたコミュニケーション手段を用いながら、思いや考えを共有し、自己実現の促進を図っていきます。 ・具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促し、人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 ・お子様の発達段階に応じた話し言葉や非言語を用いて、相手の意図を理解したり、自身の思いや考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。 ・興味・関心に応じて、自ら課題の設定を行い、事実の読み取りや整理・分析を行いながら、自身の意見として、文章や口頭で表現したりすることで、課題発見・解決力、情報収集力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力など、汎用的な力を高めていきます。											
	人間関係 社会性	◎遊びや学びを通して、他者と関わる経験を積み重ねることにより、社会性の形成を行うとともに、自己理解を深めや行動調整力を育みながら、集団への参加を目指していきます。 ・発達段階に応じた支援者の関わり方を提案し、周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びといったスモールステップでの遊びの育ちを促し社会性の発達を支援していきます。 ・自発的に小集団での活動に参加し、手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加しながら、役割分担やルール、他者と協調して遊ぶことから社会性の発達を支援していきます。 ・自己探究的な学習場面や他者とのやりとり、または、大人を介して自身の行動の特性を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援を実践していきます。											
家族支援	・家庭や学校、園での様子、事業所での様子を保護者と共有し、支援方針や家庭でのサポート方法等不安や困り事に応じて、保護者様の相談時間を設けていきます。 ・関係機関との連携による支援体制の構築を行い、発達上の課題や支援方法についての助言を行います。				移行支援	・それぞれのライフステージに応じて、移行支援シートの作成や移行先の関係機関と連携を図り、支援内容等の共有や支援方法の伝達を行います。							
地域支援・地域連携	・個々の状況に応じて、医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関と情報を共有し、連携を図っていきます。 ・余暇活動等、地域イベントへの参加を通して地域との交流の機会を提供し支援します。 ・地域の自立支援協議会等への参加を行います				職員の質の向上	・スパーク協会本部研修受講 ・年2回スキルアップ研修 ・年1回OJT研修 ・八王子市発達障害児地域支援講習会「ハッチネットセミナー」を受講 ・支援の振り返りやケース会議を実施 ・虐待防止研修、事故防止研修等、事業所内で研修会を実施（月1） ・事業所内で運営会議を実施（月1）							
主な行事等	・動物園遠足 ・調理イベント ・ハロウィン・クリスマス・節分等、季節によるイベント ・わくわくビレッジでのプログラム体験 ・陵南公園での水遊び・探検 ・宇津貴公園での秘密基地作り。												